

〔長久手町業務評価票：平成 18 年度業務〕

課係NO・業務NO	- ・ 2	総合計画	主要プロジェクト(1)長久手田園バレー構想
担当課・係名	田園バレー事業課 事業係【問合せ・質問等の先（内線番号）246番】		

業務の名称	平成こども塾事業																																								
(1)根拠法令・条例	なし																																								
(2)当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の <u>35</u> % (係の総業務量を 100%とする) 職員延人数： <u>509</u> 人・日 (臨時雇用者延人数：1人・日)																																								
(3)事業費 (人件費分を除く)	9,676千円(平成18年度決算(細目・細々目の実績から抽出・算定する))																																								
(4)補助率(補助金がある場合のみ記載)	<u>0</u> %(平成18年度実績)																																								
(5)業務期間	開始した年度	14年度	終了(予定)年度																																						
(6)業務の概要(簡潔に箇条書きで記載)																																									
業務目的(達成目標)	自然とのふれあいや「農」を体験することで、自然と人間のかかわり方を学ぶ。そして子どもの感性や心を豊かに育み、異なる立場の人との交流を通じて、自分や相手を理解しコミュニケーション力を育む。																																								
業務が対象とする住民(地域、層)	町内の小中学生とその保護者																																								
業務の具体的な実施内容・方法 (平成18年度実績)	(1) 町内小中学校の授業の一環として小中学生に自然体験・原体験活動等を実施した。 (2) 専門の講師により創作を通じて自然に接するプログラムを実施した。 (3) 町内ボランティア(サポート隊)により「食と農」、「自然観察・ピオトープ」、「創作」のプログラムを実施した。 (4) 平成こども塾の管理及び事業運営の推進に係る諮問機関として、長久手町平成こども塾運営委員会を設置し開催した。																																								
業務の実施結果 (平成18年度実績)	平成18年4月に施設が開館し、これまでたけのこ隊として活動してきたこども塾の活動範囲を広げ、126プログラムを用意した結果、2,864名の参加が得られた。(総来場者数約8,000名) 【業務結果の説明指標】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">結果の説明指標</th> <th>17年度</th> <th>18年度 実績</th> <th>19年度 目標</th> <th>将来目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>小中学校連携プログラムの開催</td> <td></td> <td>30回</td> <td>54回</td> <td>60回</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>専門プログラムの開催</td> <td></td> <td>11回</td> <td>18回</td> <td>32回</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>一般プログラムの開催</td> <td></td> <td>118回</td> <td>126回</td> <td>130回</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>運営委員会</td> <td></td> <td>3回</td> <td>3回</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					結果の説明指標		17年度	18年度 実績	19年度 目標	将来目標	1	小中学校連携プログラムの開催		30回	54回	60回	2	専門プログラムの開催		11回	18回	32回	3	一般プログラムの開催		118回	126回	130回	4	運営委員会		3回	3回	3回	5					
結果の説明指標		17年度	18年度 実績	19年度 目標	将来目標																																				
1	小中学校連携プログラムの開催		30回	54回	60回																																				
2	専門プログラムの開催		11回	18回	32回																																				
3	一般プログラムの開催		118回	126回	130回																																				
4	運営委員会		3回	3回	3回																																				
5																																									
業務の成果(業務目的の達成状況) (平成18年度実績)	施設を中心にその周辺で農体験や自然観察等のプログラムを126回開催し、約3,000名の参加が得られた。また、プログラムを通じて自然に対する理解を深めるとともに、世代を超えたコミュニケーション力を育むことができた。 【業務成果の説明指標：基本計画準拠】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果の説明指標</th> <th>17年度 実績</th> <th>18年度 実績</th> <th>19年度 目標</th> <th>将来目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td rowspan="3">自然環境への理解等の向上</td> <td>(小中学校P)</td> <td>705名</td> <td>1,560名</td> <td>1,800名</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>(専門P)</td> <td>261名</td> <td>400名</td> <td>400名</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>(一般P)</td> <td>1,598名</td> <td>1,700名</td> <td>1,800名</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					成果の説明指標		17年度 実績	18年度 実績	19年度 目標	将来目標	1	自然環境への理解等の向上	(小中学校P)	705名	1,560名	1,800名	2	(専門P)	261名	400名	400名	3	(一般P)	1,598名	1,700名	1,800名	4						5							
成果の説明指標		17年度 実績	18年度 実績	19年度 目標	将来目標																																				
1	自然環境への理解等の向上	(小中学校P)	705名	1,560名	1,800名																																				
2		(専門P)	261名	400名	400名																																				
3		(一般P)	1,598名	1,700名	1,800名																																				
4																																									
5																																									

(7)遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）
担当職員、サポーターのプログラム企画立案、運営等に対するスキルアップを図る機会が少ない。

(8)改善実績（過去3年間の実績）
活動プログラムを拡大し、できるだけ多くの子ども達が自然環境学習に参加できるよう改善した。

(9)業務の評価（自己診断）		
評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	4 点
コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	4 点
業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	3 点
住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	4 点
総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	3 点
他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	4 点
		平均 3.7点

(10)総合評価（課の見解）	
今後の方向 (該当番号に○印)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前年度と同じく、そのまま継続する。 2. 見直して継続（業務の拡大） 3. 見直して継続（業務の縮小） ④ 見直して継続（方法の改善） 5. 見直して継続（他業務と統合） 6. 廃止する。 7. 休止する。
評価理由	多様な自然環境学習プログラムを充実させていくため。

(11)今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）	
多くの小中学生に参加してもらえるようにプログラムを充実させ、幅広く自然環境学習を実践する。	